

ウォールキャビネットの取り付け

FAKTUM/ファクトウムウォールキャビネットは、頑丈なアルミ製のサスペンションレールを使用して取り付けます。しっかりと固定でき、キャビネットを簡単に水平に取り付けられます。ほとんどのキッチンでは、最初にウォールキャビネットを取り付けるのが一番簡単な方法です。下にベースキャビネットがない状態の方が、踏み台を使用しやすいからです。ウォー

ルキャビネットを取り付けない場合は、ステップ4に進みます。ステップ1で行わなかった場合は、壁を計測し、キャビネットの位置を決めて印を付けます。また、壁に凹凸がある場合は、パテや隙間調整材（隙間を埋めたり、角度を調整したりするために、木片、繊維板、合板などを隙間の大きさに合わせて現場にて手配し、お使いください）で平らにします。

壁にこのポスターを貼っておくと見ながら作業できます。

ウォールキャビネットの取り付け



1. でこぼこした箇所を補修する
壁をよく見て、水平器を当てます。でこぼこした箇所（ゆがみやでっぱり）に印を付けます。補修がおおがかりになる場合は、専門業者に依頼することをお勧めします。ウォールキャビネットの取り付けに隙間調整材が必要な場合もあります。



2. 床の凹凸を確認する
床に凹凸がないか確認します。キャビネットの下に脚または蹴込み板が入るかどうかを確認するために重要な作業です。水平器を使用して、ベースキャビネットまたはハイキャビネットを配置する場所を確認します。床の最も高い場所と最も低い場所を見つけ、ペンで壁に印を付けてください。



3. 直角の角
各角にスコヤや直角定規または直角の木製パネルを当て、壁との間に隙間がないか確認します。隙間が6mm以上ある場合は、専門業者に相談してください。U型キッチンの場合、両側の壁の距離を複数箇所で計測し、並行かどうかを確認してください。

お役立ち情報: ハイキャビネットを取り付ける場合は、ハイキャビネットを取り付けてから、最終調整をし、ナットをきつく締めてください。キャビネットを置くと、水平に正しく設置されているかを簡単に確認できます。

確認してください: キャビネットを吊る場合、下地の強度が必要です。必要な場所に下地があるか、必ず事前に確認しましょう。



4. ウォールキャビネットとサスペンションレールの位置を決める水平線を引く
ステップ1で印を付けた床の高い点を使用して、その場所からウォールキャビネットの上端と下端の位置を計測します。次に、上下2箇所のサスペンションレール位置も決めます。水平器を使用して、壁の点を水平線で結びます。



5. 壁の下地を探す
印を付けたサスペンションレールの2本の線上で、部屋の隅から壁を叩いて（または、下地探知機を使用して）サスペンションレールが施工できる柱や桟等の下地を探します。見つけたら印を付けます。印は線に沿って下地の位置に付けていきます。この印によって、サスペンションレールを取り付ける場所がわかります。



6. サスペンションレールをカットする
1つの壁に設置するウォールキャビネットの長さを計測します。計測した長さの合計から20mmを引き（レールの両端に10mmのスペースが残るようにする）、サスペンションレールをこの長さにカットします



7. サスペンションレールの金具を挿入する
サスペンションレールを壁に取り付ける前に、キャビネット取り付け用の金具を挿入します。上端用レールにはキャビネット1台につき2つの金具が、下端用レールには連結したキャビネットのうち両端にくるキャビネットを固定させるように最低2つの金具が必要です（コーナーキャビネットを取り付ける場合は、各側面に1つずつ必要）。レールを壁に取り付けるまではテープで金具をとめておくことで作業が楽になります。



8. サスペンションレールを固定する
下地がある場所に2本のサスペンションレールを固定し、レールの上下端を壁の印に合わせて取り付けます。ステップ1で、壁に6mm以上のゆがみがあった場合は、サスペンションレールに隙間調整材を入れてまっすぐになるようにします。



9. コーナーキャビネットを取り付ける
コーナーキャビネットから取り付けを開始します。サスペンションレールの金具とキャビネットの上部背板にある穴を合わせます。注：コーナーキャビネットを設置しない場合は、背面の壁と側面の壁の両方に接するキャビネットから取り付けます。このとき、プランにあるとおり、フィラーが入るだけのスペースを空けてください。



写真のようになります。下端用レールにキャビネットを固定するボルト通し穴は開いていないため、キャビネット背板に10mmφの穴を開けてください。キャビネット側面に開いている下穴の下から1つ目と2つ目を利用してL型金物プレートを取付け、L型金物プレートの中央に開いた15mmφの穴の中心に10mmφの穴を開けます。



10. キャビネットを水平に固定する
小さな金属製プレート（ボルト）に合わせ、ナットをゆるめに通します。キャビネットを水平にします。レンチでキャビネットの金具をゆるく締めます。すべてのキャビネットを取り付けてから調整できるように、この時点ではきつく締めないでください。



11. 残りのウォールキャビネットを取り付ける
取り付けられたキャビネットに合わせて、残りのキャビネットを同様に取り付けます。Cクランプを使用して隣り合ったキャビネットを仮どめします。キャビネットの表面を傷つけないように、クランプとキャビネットの間に木片を挟んでください



12. キャビネットの壁に穴を開ける
キャビネットの内側には下穴があります。キャビネットの5mmのドリルビットを使って上から4つ目および下から4つ目の穴にドリルで穴を開けます（2つ目と3つ目の穴はピンジ用）。



13. キャビネット同士を連結する
キャビネットフレームに同梱されているネジを穴に入れて締めます。Cクランプを取り外します。残りのキャビネットも同様にネジで固定します



14. ナットをきつく締める
すべてのウォールキャビネットを取り付け、位置をそろえて、キャビネット同士を連結し、最終調整が済んだら、すべての取り付けナットをきつく締めます。角にあるL型金物プレートにプラスチック製カバーを取り付けます。



ステップ 3 終了
これでウォールキャビネットの取り付けは完了です。

ベースキャビネットおよびハイキャビネットの取り付け

ベースキャビネットとハイキャビネットを取り付けます。キャビネットを取り付ける前に、水道、電源、その他の配管・配線の位置を確認して印を付け、ジグソーで開口部をカットし

ます。次の手順に従って、キャビネットの前面と背面に脚を取り付け、サスペンションレールを使用してキャビネットの壁に固定します。

**壁にこのポスターを貼っておくと
見ながら作業できます。**



1. 水平線を引く
印を付けた床の高い点を使用して、ワークトップの高さから4cm低い箇所を計測します。水平器を使用して壁のこの高さに線を引きます。
.....
写真はハイキャビネットなど、キャビネットの下端にレールがくるケースです



2. サスペンションレールをカットする
取り付けるベースキャビネットとハイキャビネットの長さを計測します。サスペンションレールを計測した長さに合わせてカットします。



3. サスペンションレールの金具を挿入する
サスペンションレールを壁に取り付ける前に、キャビネット取り付け用金具を挿入します。キャビネット1台につき2つの金具が必要です（コーナーキャビネットを取り付ける場合は、各側面に1つずつ必要です）。レールを壁に取り付けるまではテープで金具をとめておくと作業が楽になります。



4. サスペンションレールを固定する
ステップ4の1で付けた線にサスペンションレールの上端をそろえます。壁の下地がある部分に固定します。

お役立ち情報: ハーナーキャビネットを設置しない場合は、背面の壁と側面の壁の両方に接するキャビネットから取り付けます。このとき、キャビネットと側面の壁の間にフィラーが入るだけのスペースを空けてください



6. コーナーキャビネットを取り付ける
コーナーキャビネットを設置場所に置き、脚の高さを調整して、サスペンションレールに水平になるようにします。水平器で水平であることを確認してください。



レールの金具とキャビネット上部背板にある穴を合わせます。



7. キャビネットを水平に固定する
小さな金属製プレートにボルトを合わせ、ナットをゆるめに通します。キャビネットを水平にします。必要に応じて下端に隙間調整材を使用します。レンチでキャビネットの金具をゆるく締めます。すべてのキャビネットを取り付けてから調整できるよう、この時点ではきつく締めないでください。
ヒント: コーナー用回転シェルフを取り付ける場合は、ここで取り付けます。ワークトップを設置する前に取り付けの方が簡単です。



8. 次のベースキャビネットを取り付ける
次のキャビネットを取り付けるための印を付け、穴を開けて、ネジを挿入します。キャビネットを持ち上げ、先に取り付けたキャビネットに慎重にそろえます。Gクランプを使用して、キャビネット同士を仮止めします。



9. キャビネットの壁に穴を開ける
5mmのドリルビットを使って上から3つ目および下から3つ目の穴にドリルで穴を開けます。引き出し付きのキャビネットを取り付けるときは、上から4つ目の穴にドリルで穴を開けます。KALSEBO/カルセボまたはULRIKSDAL/ウルリクスダールの扉を取り付ける場合は、上から4つ目および下から4つ目の穴にドリルで穴を開けます。



10. キャビネット同士を連結する
キャビネットフレームに同梱されているネジを下穴に入れて締めます。Gクランプを取り外します。残りのキャビネットも同様に取り付けます。



11. 配管・排水用の穴を開ける
シンクユニットを取り付ける前に、キャビネットの底部(上の写真)が背板に水道管、排水管用の穴を開けます



12. ハイキャビネットを取り付ける
ハイキャビネットは、ベースキャビネットと同様に取り付けます。側面にカバーパネルを取り付ける場合は、同梱の組み立て説明書を参照して、キャビネットを設置する前に取り付けてください。



13. ナットをきつく締める
ベースキャビネットとハイキャビネットをすべて取り付けたら、最終調整をしてからサスペンションレールに固定するナットを締めます。



14. フィラーのサイズを測る
水平器で壁が平らになっているか確認します。平らでない場合は、17に進んでください。平らな場合は、壁からキャビネットまでの間隔を測り、フィラーの上端と下端にこの長さの印を付けます。



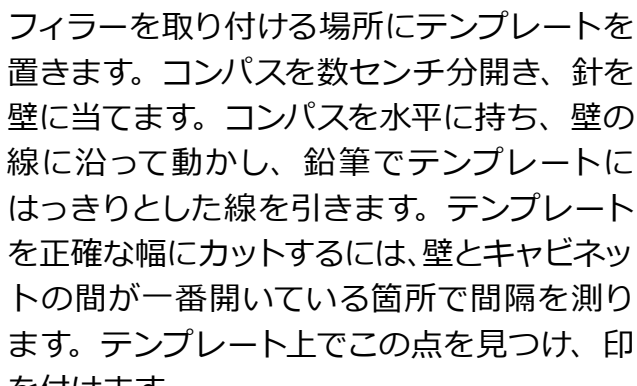
15. フィラーをカットする
手のコを使用する場合: フィラーの前面に上端と下端の印を結ぶ線を引き、表面を上にしてカットします。ジグソーを使用する場合: フィラーの両面に印を付けます。切断面が平らになり、板くずがないように、表面に書いた線の上にマスキングテープを貼ります。背面を上にしてカットします。



16. フィラーを取り付ける
切断面が壁側にくるようにしてフィラーを取り付けます。キャビネットの内側から、下穴を通してドリルでネジを取り付けます。フィラーが正しい位置に取り付けられるように、まず壁にとめます。他のフィラーも同様に取り付けます。フィラーをすべて取り付けたら、18に進んでください。



17. 平らでない壁
壁が平らでない場合は、フィラーを壁の形に合わせてカットする必要があります。このためには、壁の形のテンプレートを作って、フィラーにトレースする必要があります。薄い合板か、丈夫な段ボールでテンプレートを作成してください。その他に、巻尺、鉛筆、コンパスが必要です。テンプレートの材料をカットして、キャビネットと同じ高さにします。



フィラーを取り付ける場所にテンプレートを置きます。コンパスを数センチ分開き、針を壁に当てます。コンパスを水平に持ち、壁の線に沿って動かし、鉛筆でテンプレートにはっきりとした線を引きます。テンプレートを正確な幅にカットするには、壁とキャビネットの間が一番開いている箇所の間隔を測ります。テンプレート上でこの点を見つけ、印を付けます。



18. ホコリから保護する
壁とキャビネットの間の隙間をなくすためには、フィラーの周囲をコーキングする必要があります。コーキングする箇所に沿ってテープで保護します。隙間があれば、そこにコーキング材を塗ります。



ステップ4 終了
これでキャビネットフレームの取り付けは完了です。

ワークトップの取り付け

ワークトップおよびシンクを取り付けます。メラミン・木製のワークトップを計測してカットするときは、のこぎり台を使うと作業がしやすくなります。ステップ5が終了したら、専門業者に依頼して、水道、ガス、電気を接続し、コンロ、食器洗い機、照明を取り付けます。人工大理石/ステンレススチー

ルのカスタムメイドワークトップをオーダーした場合は、あらかじめ必要な長さにカットされており、シンクも工場にて取り付け済みで、コンロ/水栓用の穴も開いています。人工大理石のL型カウンター継ぎ工事は、技術を必要としますので、専門業者に依頼することをお勧めします。

壁にこのポスターを貼っておくと
見ながら作業できます。



1. キャビネットと壁の間のスペース
ベースキャビネットの上にワークトップを置き、背面の壁との間に5mm、側面の壁またはハイキャビネットの間にはそれより狭いスペースを空けてください。L型キッチンの場合、2つのワークトップを突き合わせ継ぎにしてください（アングル継ぎ、とめ継ぎにしない）。こうすると、ワークトップが通常の膨張と収縮に耐えられるようになります。



2. ワークトップの正確なサイズを測る
ベースキャビネットの端からワークトップの長さを測り、カバーパネルに2cmのオーバーハングを追加します。手ノコを使用する場合は表面に、電動丸ノコを使用する場合は裏面に鉛筆で印を付けます。



3. ワークトップをカットする
手でカットする場合は、目の細かい手ノコを使用することをお勧めします。ワークトップに裂け目が入らないように、カットする部分に養生テープを貼ります。電動丸ノコを使用する場合は、ワークトップの表面を下にして、直定規を固定し、カット線に沿って丸ノコを動かします。切断面にやすりをかけ、オイルを塗布します。

お役立ち情報: 無垢材製ワークトップは、施工前と施工後に定期的にやすりをかけ、オイルを塗ると、美しさを長く保つことができます。染みや小さな傷は、目の細かいサンドペーパーで落とせます。やすりをかけた表面は、削り粉を拭き取ってからオイルを塗ってください。



4. シンクの場所に印を付ける
ワークトップを置き、ベースキャビネットの内側をワークトップの裏面にトレースします。これにより、シンクの切断面がぴったり合うようになります。次に、シンクを逆さまにして、ワークトップの裏面に前後左右正しい位置に置きます。シンクの縁に沿って鉛筆でトレースします。鉛筆と直定規を使用して、トレースした線の内側にカット用の線を引きます。詳しくはシンクに同梱の組み立て説明書をご覧ください。



5. シンク・コンロ用の穴を開ける
のこぎり台にワークトップを載せます。カット線の4つのコーナーに、ジグソーの歯を入れるための10mmの穴を開けます。同じカット線に沿って、シンクユニット用の穴をカットします。同様に、コンロ用穴もカットします。



6. シンクの切断面を保護する
ワークトップに水分が染み込まないように、木製ワークトップの場合切断面に沿ってハケでBEHANDLA木製品用トリートメントオイルを塗ります。メラミンワークトップの場合は、市販のシリコンコークをヘラ等で塗布してください



7. シンクが入るか確認する
ワークトップをベースキャビネットに戻し、シンク用の穴が、ベースキャビネットの上部のフレームレールに引っかからないことを確認します。引っかかる場合は、レールを削ってシンクがぴったり入るようにします。



8. シンクを取り付ける
ワークトップを取り外し、逆さまにして、のこぎり台に置きます。同梱の組み立て説明書に従ってシンクを取り付けます。



9. ワークトップを固定する
ワークトップは、付属の金具を使用して固定します（上の写真）。スロット付きのブラケットにより、ワークトップが通常の膨張と収縮に耐えられるようになります。ワークトップを置き、計測したときと同じ間隔を空けます。ワークトップを固定する前に、等間隔に取り付け点を決め、下穴を開けます。



10. キッチン水栓を取り付ける
シンクに水栓用の下穴が開いていない場合は、シンクまたはワークトップに穴を開ける必要があります。水栓を取り付ける場所にマスキングテープを貼り、穴を開ける箇所にペンで印を付けます。同梱の組み立て説明書に従って、ドリルで穴を開け、水栓を取り付けます。



11. ワークトップにやすり、オイルを塗る
木製のワークトップには、取り付けまでに必要な保護を施してあります。使用前に、表面に目の細かいサンドペーパーでやすりをかけ、BEHANDLA木製品用トリートメントオイルを塗ってください。



ステップ5 終了
これでワークトップとシンクの取り付けは完了です。



引き出し、棚板、照明の取り付け

キャビネットには、棚板、引き出しなどの収納アクセサリを簡単に取り付けられるように、下穴が開けてあります。後で調整したり、収納アクセサリを追加したりするのも便利です。

です。キャビネットフレームにカバーパネルを取り付ける場合は、内側からネジでとめる必要があるため、収納アクセサリを取り付ける前に実施してください。

壁にこのポスターを貼っておくと見ながら作業できます。



1. カバーパネルを取り付ける
Gクランプを使用してカバーパネルを仮止めします。キャビネットの内側からキャビネットフレームに下穴を開けます。このとき、カバーパネルに穴を開けないように注意してください。カバーパネルをネジでとめます。ウォールキャビネットの下にデコストリップを取り付けない場合は、カバーパネルは6cm短くする必要があります。下から切断面が見えないように、上端をカットしてください。



2. 照明を取り付ける
ガラス扉付きのキャビネットに照明を取り付けます。プロの仕上がりを求める場合は、資格を持った電気技師に依頼してください。



3. 棚板を置く
棚板1枚につき4つのダボをキャビネット内側の下穴に差し込み、棚板をダボの上に載せます。収納する物に合わせ、スペースを有効に使えるように考慮して棚板を置いてください。ダボと棚板は、いつでも移動することができます。



4. 引き出し前部を取り付ける
同梱の金具を下穴に通し、引き出しの箱に引き出し前部を取り付けます。



5. 引き出し前部を調整する
ネジ回しを使用して、引き出し前部の箱に引き出し前部を取り付けます。引き出しをキャビネットフレームに入れてから、引き出し前部にノブか取っ手を付けます。これによりノブまたは取っ手が水平で同じ高さになっているかを簡単に確認できます。



ステップ6 終了
これで棚板、照明、引き出しの取り付けは完了です。

最後の仕上げ

完成まであと少しです。残りの作業はどれも重要なので、時間をかけて丁寧に行ってください。お子さまの安全のために、コンロガードなどを取り付けてください。新しいキッチンを家族みんなが楽しめる場所にしましょう。



1. 蹴込み板をカットする
ベースキャビネットの下の空いた空間をカバーするよう、蹴込み板を正確に計測して印を付けます。目の細かいハンドソーで蹴込み板をカットします。



2. 縁の仕上げをする
蹴込み板の切断面を同梱の木口テープでカバーします。アイロンで正確に計測して印を付けます。目の細かいハンドソーで蹴込み板をカットします。



3. 蹴込み板をはめる
組み立て説明書に従って、蹴込み板にクリップを貼り付けます。コーナー部分では、片方のクリップは蹴込み板上部に、もう片方のクリップは蹴込み板下部に取り付け、1本の脚に両方のクリップがはまるようにします。脚に蹴込み板をはめます。



4. デコストリップを取り付ける
デコストリップをウォールキャビネットの下部の横幅に合うように計測してカットし、取り付けます。取り付けについては、デコストリップに同梱の取り付け説明書をご覧ください。



5. ヒンジのベースプレートを取り付ける
のこぎり付きマイターボックスを使って、各コーナーを45度にカットすると継ぎ目がきれいに仕上がります。



扉のヒンジのベースプレートを各キャビネットの上部と下部にある1つ目と2つ目の下穴にネジでとめます。



6. 扉にヒンジ本体を取り付ける
ヒンジ本体を扉の下穴に差し込みます(上の写真)。ネジは必要ありません。



7. キャビネットに扉を取り付ける
ヒンジ本体をベースプレートに取り付けたら、調整ネジで幅、奥行き、高さを調整してちょうど良い位置に扉を固定します。詳しくは、ヒンジに同梱の取り付け説明書をご覧ください。



8. 扉に取っ手を取り付ける
FIXA/フィクサドリルテンプレートを使うと、すべての扉の同じ位置に簡単に取っ手を取り付けることができます。印を付けてドリルで穴を開ける前に、扉の開く方向を確認してください。扉に穴を開けるときは、ドリルビットが貫通したときに表面に亀裂が入らないよう、穴を開ける場所の後ろに木片を当ててください。



9. ドアバンパーを取り付ける
ドアバンパーを取り付けると、扉がゆっくりと静かに閉まります。組み立て説明書に従ってバンパーをキャビネット内側の上部のヒンジの反対側にネジでとめます。ヒンジに取り付けるダンパーも用意しています。



ステップ 終了
これでキッチンの設置が完了し、使用できるようになりました。ウォールオーガナイザーを使って壁面も有効に活用すると、ワークトップのスペースをより広々と使えるようになります。(キッチンハンドブック参照)